

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390700207
事業所名	えくせれんと鶴舞

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板を通じて地域情報の収集を行っている。職員が消防団の一員となり、地域防災活動に貢献している。社会福祉協議会主催の「つるまいサロン」に定期的な参加があり、地域高齢者との交流を深めている。介護相談で住民が気軽に来所し適切なアドバイスを行い、認知症専門施設として地域に貢献している。今後地域清掃ボランティアの活動として、月1回職員がごみ収集活動参加の計画がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回定期開催をして、運営報告や地域情報の収集、意見交換の場として活かされている。前年に引き続きコロナ感染対策として書面での開催となり、包括職員、協力医代表職員、町内会長、民生委員等の構成員には議事録を郵送し、意見を招集、報告をして相互に連携を図った。職員間には議事録を回覧し、サービス運営に反映する体制を整えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区福祉課窓口には、直接出向く機会や電話で相談をしたり、郵送で書類を送付し手続きをする方法でやり取りを行い連携を図っている。市町村主催の研修の案内が届き、介護基礎研修、実践者研修、実務研修等の参加をしている。社会福祉協議会主催の事例検討会に出席し、同業事業者のケアマネージャーとの意見交換や情報収集等で協働関係を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱を設置し、利用者や家族の意見を受け止める仕組みがある。また家族向けのアンケートを実施している。意見や要望は社内ネットで随時周知し、即支援に反映する体制を整えている。何かあれば電話やラインで即時状態を伝えたり、毎月発行する「つるまいタイムズ」でコメントを寄せて利用者其々の日常の様子を伝え、家族の安心に繋げている。コロナ禍でもWEB面会を実施して利用者家族間の関係性の継続へ支援を行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価								-	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								